



新年号

令和 4 年 1 月発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
【編集者】浴風会本部事務局
浅井 敏男



澄み渡る晴れ間の富士
撮影・第三南陽園 副園長 平井一浩

令和 4 年を迎えて新年のご挨拶

理事長

寺尾 徹



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

今年度は浴風会が一九五二年に財団法人から社会福祉法人に移行して70年目に当たります。更に、皆様ご承知の通り二〇二五年には浴風会が財団法人として創設されてから一〇〇周年を迎えることとなります。

浴風会は今までの歴史の中で二度の大きな危機を乗り越えてまいりました。一つは、先の大戦において陸軍に接収され終戦を迎え返還された復興期の物資不足の中での財政危機であります。今一つは一九七四年頃の病院建て替え等に伴う収益減少に伴う財政危機であります。

これらの苦難の克服は先人の知恵と努力による結果でございます。現在の浴風会がそのうえで成り立っていると思う時、心からの感謝が溢れて参ります。

松尾芭蕉が旅の中で会得した「不易流行」ということばがあります。平たく言うと、変わらぬに守ってゆくべきものと、時代に応じて変わってゆくものがあるということです。

一八六八年明治政府は「五箇条の御誓文」を公布し、その翌

日に「五榜の掲示」という、倫理道徳、犯罪を戒め、邪宗の禁止などを5本の札に分けて掲示しました。その第一の札に「鰥寡孤独廢疾のものを憐れむべき事」(鰥は妻を亡くした高齢の男性、寡は夫を亡くした高齢の女性、孤はみなし児、独は身寄りのないものの意)と記され鰥寡孤独と障害者の救済を唱えました。声を上げられない社会的弱者に寄り添い支援する事が福祉の原点であり芭蕉の言う「不易」であると思います。

の役割の大切さが行政の財政難の中で少し薄れて来ています。こうした制度の狭間にある人々に新たな対応策を講じなければなりません。時代の変化に対応した施策の構築が「流行」であると思います。

杉並区が昨年末に「杉並区基本構想」を策定されました。その中において高齢化の進展に伴い二〇四〇年には杉並区の高齢者世帯の6割が単身世帯となると推定されております。

今後、訪問診療や訪問看護・リハ・介護などの福祉サービスニーズが多様化しつつ増加していく事が想定され、浴風会はこのニーズに対し、的確に対応する努力を継続しなければなりません。

これからも浴風会は、松尾芭蕉が会得した「不易流行」の心得を念頭に、浴風精神である「老いも若きも相和して、自然の中でゆとりある暮らしの場」であり続け、地域の医療と福祉の拠点としてその存在感を高めるよう努めて参ります。

当会に対する皆様の引き続きのご支援を心からお願い致します。新年頭のご挨拶と致します。

「コロナ禍における超高齢社会の生き方」



樋口恵子先生講演会

浴風会ケアスクール校長 服部 安子

令和 3 年 10 月 29 日、会場 & オンデマンド配信による樋口恵子氏による講演会が、当会認知症介護研究・研修東京センターにて、全国生活協同組合連合会助成事業にて開催されました。当日は、コロナ禍において、会場内の人数制限があり、会場希望の多くの方をお断りいたすことになって申し訳ありませんでした。当日は 72 名と盛況で、89 歳になっても執筆・全国の講演活動と精力的に活動されている樋口先生の軽妙洒落な語り口に、時折笑いも誘われながら、皆様熱心に聞き入っておりました。アンケートからも、多くの満足の評価と元気を頂いたと開催趣旨に対するお礼等が多く寄せられておりました。今回は、その講演会の要旨をしましたが、詳細について知りたい方は、3 月末まで下記 QR コードにて拝聴いただけます。



講演概要 (つながるフェスタ冊子より) 戦後すぐのベビーブーム(1947(1949年)に生まれた「団塊世代」全員が後期高齢者(75歳)となり、医療や介護などの社会保障費が急増する2025年が目前の日本。これまでの高齢社会とは異なり、ファミリー(家族のない)の時代に入っていく中で、75歳以上の一人暮らし、いくつかの疾病を抱えてヨタヨタへ口へ口の『ヨタヘロ期』を過ごし、ドタンと倒れ、最終的に寝たきりとなり介護が必要になるという流れが見えてきます。その一方、人生100年時代が到来しています。2021年9月15日までに100歳以上になる高齢者は、昨年より

6060人増えて8万6510人。統計をとり始めた1970年には、わずか310人だったのに、51年連続で最多を更新しているのです。平均寿命をみますと男性81.64歳、女性87.74歳(2020年)で、健康寿命は男性72.14、女性74.79歳(2016年)です。健康寿命とは、介護が必要なく自立して健康に過ごせる期間のこと。平均寿命から健康寿命を差し引いた期間は、介護など誰かの手助けが必要な期間を示します。いかえればヨタヘロ期間、老年学でいえば心と体の働きが弱くなってきたフレイル(虚弱)という状態です。できれば健康寿命を延ばし、平均寿命まで元気に生活してピンピンコロリといきたいものですが、実際にピンピンコロリを達成できるのは10人に1人ほど。大半の人は、健康寿命が終わり亡くなるまでヨタヘロ期間に突入します。男性では約9年、女性では約13年もあります。ヨタヘロ期間は、ヨタヨタヘロヘロはしているものの、ただちに要介護状態になるわけではありません。見守りが必要なときがあるかもしれませんが、基本的に自分一人で行えることが沢山あります。これからは、この期間をいかに元気に生きるか大きな課題です。要介護状態になるのをできるだけ遅くする工夫が必要なのです。ちなみに介護が必要になる原因は、男性の場合、一番多いのは脳血管障害(脳卒中)で23%。次いで認知症、高齢による衰弱と続きます。女性の場合、一番多いのは約21%の認知症ですが、転倒・骨折(約

15%)と関節疾患(約13%)を合わせると、認知症を超えます。つまり、要介護状態になるのを遅らせるためには、男性は血管、女性は骨の健康を守る必要があるのです。低栄養にならないような栄養バランスのよい食事、適度な運動は基本です。ただし、一人で食べるよりも、一人で走るよりも、3〜4人で楽しく食べたり運動したりするほうがフレイルが少ないというデータが出ていますので、できれば食事も運動も仲間と一緒にすることをすすめします。そして有償ボランティアでも何でもいいので、週に1回は働きましょう。ヨタヘロ期間の高齢者が安心して歩いていける場所を地域社会に作らなければなりません。困ったことがあったら助け合おうと生活支援有償ボランティア組織「微助っ人(ビスケット)の会」が各地にでき始めています。「年老いて 我もなりたや微助っ人」というのが私の心境です。年をとってからも地域でいろいろな人と出会い、自分のできることをしながら人生のゴールをめざしましょう。(ひぐち・けいこ)

1932年東京生まれ。東京大学を卒業後、時事通信社記者などを経て評論活動に入る。NPO法人「高齢社会をよくする女性の会」理事長、東京家政大学女性未来研究所名誉所長、同大学名誉教授。著書は「サザエさんからいじわるばあさんへ」朝日新聞出版、「その介護離職、おまちなさい」潮出版社、「老い、どん!あなたにも『ヨタヘロ期』がやってくる」婦人之友社、「老いの福袋 あっばれ!転ばぬ先の知恵88」中央公論新社など多数。

第 9 回「浴風会つながるフェスタ 誌上 & WEB」開催中

つながるフェスタ実行委員会

回数	年度	総来場者数	協賛・協力団体	メイン企画
第 1 回	2012 (h24)	322名	50団体	・白澤卓二氏講演会 他 ・別日程で第2弾、第3弾 映画上映会を開催
第 2 回	2013 (h25)	520名	40団体	・栗原小巻さんトークショー ・「認知症とうつ」講演会(長谷川和夫氏・洋氏)
第 3 回	2014 (h26)	1200名	54団体	・橋幸夫さんトークショー
第 4 回	2015 (h27)	343名	56団体	・海老名香葉子さんトークショー ・浴風会歴史セミナー
第 5 回	2016 (h28)	600名	58団体	・デュークエイセスコンサート ・認知症予防講座
第 6 回	2017 (h29)	600名	52団体	・くまモン、なみすけ&ナミーによるショー&撮影会 ・高齢者ファッションショー ・認知症セミナー
第 7 回	2018 (h30)	550名	50団体	・なみすけ&ナミーじゃんけん大会 ・高齢者ファッションショー ・認知症セミナー
第 8 回	2019 (R1)	600名	66団体	・なみすけ&ナミーじゃんけん大会 ・レクリエーションスポーツ体験会(ポッチャ他) ・講演会
2020(R2)年度は、コロナウイルス感染拡大により中止				
第 9 回	2021 (R3)			・講演会(誌上&WEB) ・浴風会オブジェマップ

第9回「浴風会つながるフェスタ」は、現在、誌上 & WEBにて開催しております。「浴風会つながるフェスタ」の前身は、「まるわかり! あんしん介護フェア」として平成24年度より法人の理念「地域との協働と社会貢献」の具現化の一つとして開催されました。当初は『知る』『見る』『体験する』『障害』や「病気になるっても地域で安心して暮らす」ことを目的に、最新の情報を得るとともに、地域の住民の声をサポート従事者につなげる「かけ橋」に

なればと、当スクールが中心となり、認知症家族会、地域ボランティア団体、小中高専門学校、企業の協賛により始めました。その後、4回目からは法人全体の行事として取り組み、平成30年からは新たに「交流する」というテーマを加え、職員公募にて「浴風会つながるフェスタ」と名称も一新しました。開催は毎年10月の第3土曜日と決めたことで、地域の皆様や関係者に定着しました。

しかし、一昨年は、コロナ感染の収束が見通せないた

めに、やむなく中止しました。さらに昨年の当初も会場対面式は諦めることにしました。が、毎年楽しみにしてくださっている地域の皆様方の声に応えるために、実行委員会で検討した結果、コロナ禍でも情報発信し、「つながる」こと」を継続してやるのが大切であることから「第9回浴風会つながるフェスタ・誌上 & WEB」を開催することになりました。

今回の特徴は、新生活様式(三密を避けたソーシャルディスタンスをとる)において、浴風会を「知る」「見る」「体験する」「交流する」ことができるよう、冊子とWEBを活用することにしました。冊子には、講演会の内容、浴風会の歴史的なオブジェなどの紹介、各施設のトピック

ス、浴風会の歴史概要をまとめました。それぞれ詳しく知りたい方は、冊子についているQRコードまたは浴風会のホームページからご覧いただけます。(令和4年3月末まで公開)

コロナ禍による外出制限が続き、運動不足になるとともに身体機能が低下された方も少なくないようです。広大な敷地を有する当法人には、歴史ある建造物やオブジェなどが点在しています。由緒ある建造物から歴史を感じたり、ユニークなオブジェを見つけたりするなど、楽しみながらお散歩をして運動不足の解消につながれば幸いです。どうぞ、お気軽にお出かけください。(冊子には限りがありますが、各施設にお問い合わせください) (服部安子)



構内にあるニルスのオブジェ (平成8年設置)



浴風会つながるフェスタの様子 (令和元年)

浴風会 HP のお知らせ、もしくは下記 QR コードよりご覧ください。



2022年3月31日まで公開



浴風会病院

健診センターのご案内



浴風会病院の健診センターでは協会けんぽ（全国健康保険協会東京支部）の生活習慣病予防健診をはじめ地域住民（杉並区・世田谷区・中野区）の方がお受けいただく区民健康診査、労働安全衛生法に基づく事業所等にお勤めの方の健康診断、個人でお受けいただく各種の健康診断を行っています。

また、寝たきりや認知症の原因ともなっている脳梗塞や脳出血を詳しく検査のできる脳ドック等も行っていますので、毎日を安心してお過ごしいただけるよう、是非お受けいただきますようお勧めいたします。

なお健康診断はすべて**予約制**となりますので事前にご予約をお願いいたします。

《健康診断コース》

- * 定期健康診断（法定健診項目）
- * 採用時健康診断
- * 協会けんぽ生活習慣病予防健診
- * 一般生活習慣病健診
- * 区民健康診査
（杉並区・世田谷区・中野区）
- * 部位別検診
 - ① 骨密度検査 (DEXA 法)
 - ② 動脈硬化検診 (ABI/CAVI)
 - ③ 胃がんリスク検査 (ABC 健診)

《脳ドックコース》

- * 脳簡易検査 (MR 検査のみ)
- * 基本コース
脳の形態に特化したコース
- * 脳梗塞重点コース
脳梗塞に重点を置いたコース
- * 総合コース
総合的に脳の検査、診察を行います
- * その他 A～C コース



◆健康診断についてのお問い合わせ・予約は下記までお願いいたします。
浴風会病院 健診予約担当 平日の午前 9 時～午後 5 時

03-3332-6511 (代表)

浴風会の動き

(10月～12月)

【本部事務局】

10月

1日 採用辞令交付(7名)

9日 杉並郷土史会80名外観見学

26日 ゆうゆう高井戸西館15名外観見学

11月

1日 採用辞令交付(3名)

8日 厚生労働省 宮下雅行福祉基盤課長他5名見学

24日 3町会と合同消防訓練を実施

12月

1日 採用辞令交付(3名)

2日 『第2回理事会』開催「事業中間報告」、「補正予算」、「経理規程及び評議員選任・解任委員会運営細則改正」、「東社協介護福祉士等修学資金貸付制度の法人の連帯保証人」等承認。

8日 法人総合防災訓練を実施

10日 厚生労働省 古元重和老人保健課長他3名LIFEシステム実態見聞に来会(南陽園)

(大谷)



11月24日3町会との合同消防訓練の様子

浴風会ケアスクール

10月

1日 特別区職員互助組合介護講座、準備編「ちよつとした知恵・コツが介護生活を変える」(参加者46名)

5日、12日、19日、26日 介護職員初任者研修17期生スクーリング

25日 介護職員初任者研修18期生開講式

29日 全国生活協同組合連合会助成事業、樋口恵子氏講演会「コロナ禍における超高齢社会の生き方」会場受講(参加者62名)とオンデマンド配信。

11月

1、8、15、22日、29日 介護職員初任者研修18期生スクーリング

2日、9日 介護職員初任者研修17期生スクーリング 修了者15名

10日 杉並区社会福祉協議会ささえあいサービスフォローアップ研修(11名)

12月

6、13、20日 介護職員初任者研修スクーリング18期生

10日 特別区職員互助組合介護講座、認知症セミナー「脳寿命を延ばすとは」(参加者63名)

※「よくふう語ろう会」(第2水曜日)と「Carオレンジリボンウッド」(第2月曜日、第4金曜日)は、新型コロナウイルスによる感染拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。

(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

10月

5日 芋掘り。中庭で5月に植えたさつまいもの収穫の時期となり、利用者と一緒に芋掘りをしました。後日昼食時にさつまいも菓子として召し上がりました。

30日 花壇ボランティア。富士見ヶ丘小中学校の生徒さん達が、花壇の手入れをして下さいました。

11月

16日 紅葉ごはん。調理スタッフが海老と人参をもみじに見立て、彩りの良いご飯を作りました。

25日 衣料展示会。約2年ぶりの開催となり、大ホールにて行いました。普段外出されない方も、お好みの衣類を試着されたり購入され、大変喜ばれました。



松風園 (軽費老人ホーム)

10月

7日 食事会。例年の日帰りバスハイクに代わり、今年は外部の協力会社にお願いで少し豪華な昼食を用意し、少人数での食事会をいたしました。

事前に好みを伺い、少し遅めの昼食時間にお集まりいただき、うなぎやすき焼きをそれぞれ楽しみました。

11月

9日 文化祭

三密を避けて実施しているクラブの生花や絵手紙、また利用者が個人で作られた作品を、渡り廊下に展示しました。外出の機会が少ない中、足を止めて作品に見入る姿が見られました。



12月

2日 餅つき

昼食時に搗き立ての餅を中心としたメニューをお出ししました。からみ、海苔、黄な粉、小豆餡の4種類とお雑煮をご用意しました。搗き立ての餅を楽しみにしておられた方も多く、ご希望の方にはお代わりございました。

「美味しく食べて食べすぎた」「もう夕ご飯は入らない」と盛況いただきました。



(徳増)

(藤原)

浴風会ケアハウス

10月

29日 カフェケアハウス〜ハロウィン〜
タルトケーキ、ハロウィン仮装グッズ、利用者手作りのカボチャのお菓子入れ等をご用意しました。



11月

18日 紅葉狩りスペシャルランチ
人気のある秋の味覚カキフライをメインに用意しました。

★西側非常階段下を整え、利用者が自由に利用できる花壇にしました。綺麗なお花に彩られるのが、今からとても待ち遠しいです。

12月



8日 餅づくし
10日 居室点検

一年に一度各居室を回り、防災・緊急対応ができる環境を確認しました

★ギンナン・落ち葉掃き

ケアハウス前のイチョウが黄色く色付きました。利用者が率先して落ち葉掃きをしてくださっています。

◆入居説明会は、感染症対策の為延期とさせていただきます。

(尾滝)

【介護保険事業】

南陽園(特別養護老人ホーム)

10月

17日 「デザートバイキング」
ケーキやゼリー、シュークリームなど、たくさんデザートの中から好きなものを選んでいただきました。



31日 「ハロウィン」

かぼちゃのケーキ
やムース、クッキー
でハロウィンを楽しみました。

12月

6〜9日 毎年恒例の「餅つき」を行いました。

「よいしょー!!」

のかけ声のなか、職員と利用者で力を合わせてお餅をつき、おやつはお汁粉をいただきました。



ハロウィンクッキー



20〜25日 「柚子湯」。季節の芳醇な香りを楽しみました。

19、22、26日は各フロアで「年忘れ会」を行い、一年を締めくくりました。

(丸山)

南陽園在宅サービスセンター

(認知症対応型通所介護)

10月

良いお天気が続いたので、園内散歩に出かけました。木陰で職員のハーモニカの演奏に合わせて、昔の唱歌などを楽しみました。🎵

11月

食欲の秋ということで、折り紙でリンゴを作成しました。美味しそうな可愛らしいリンゴがたくさん収穫できました。



リンゴ作り

12月

クリスマスツリーの飾り付けを行いました。「ここに鈴を飾ろうかしら」「こつちがいいんじゃない?」などと会話も大変盛り上がりました。🎄

令和3年も体操やレクリエーションなど、様々な活動を通して充実した一日を過ごしていただけるよう、職員一同努力して参ります。どうぞよろしくお願ひ致します。

※ご利用をご検討中の方は、ぜひお気軽にお問合せ下さい。

電話 03-3334-2743

(栗山)

第二南陽園(特別養護老人ホーム)

10月

20日 クッキング★カフェでは、南瓜マフィン&栗のティラミス&フルーツティーを作りました。久しぶりにオーブンで焼くお菓子を作り、お菓子の焼けるいい匂いが部屋に充滿しており、利用者の食欲も上がりました。

11月

職員が身体拘束を体験をする身体拘束研修を始めました。

19日 誕生会の昼食はお寿司でした。利用者から「お寿司はいいわね」「おいしい」との声が多く聞こえ、とても喜ばれていました。

29・30日・12月1日 3フロアに分かれ、もちつきを行いました。

「子供のころに戻ったみたい」「杵で叩かれそうで怖い」「おいしいの

が出来るといいな」

など、利用者の感想は様々でしたが、皆さんの良い笑顔が見られました。



もちつき

12月

各フロアで年忘れ会を企画し実施しました。職員の一発芸・利用者との食事作り・くじ引きなど、各フロアの企画は様々でした。

(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター (通所介護、介護予防通所介護)

10~11月

この時期は暑くもなく寒くもない秋晴れの日が続きました。天気の良い日は敷地内散歩を開催しました。浴風会の広い敷地の中を皆様と歩き、風の匂いや花の色の移り変わりで季節の変化を感じる時間となりました。

12月

9日~ 来年の干支である「寅」の置物を皆様で作りました。無機質な紙粘土に生命を吹き込み、とても生き生きとした表情豊かなトラたちがたくさん出来上がりました。とてもクリエイティブで楽しいものづくりの時間となりました。



第二南陽園のデイサービスではご利用者を募集しております。安心して一日を過ごせる場所をお探しの方、手芸・趣味活動に興味のある方、同世代の方々との交流をご希望の方々はぜひご検討ください。

「ご見学やお問い合わせは随時お受けしておりますので、ご担当のケアマネージャー様にご相談いただくか、直接当施設までお問い合わせください。どのようなことでもお気軽にご相談ください。職員一同お待ちしております。」
03(3334)2140 (隈本)

第三南陽園(特別養護老人ホーム)

10月

13日 ソースを選んで味わう秋鮭。秋になり鮭が美味しい季節になりました。10月は鮭のソテーに「トマトソース」「タルタル風ソース」「味噌バターソース」の3種類のソースを用意し、利用者に自由に選んでいただきました。利用者からは「他の味も食べたいわ」とのオーダーもあり、秋の味覚を楽しみました。

11月 枇杷の葉風呂

浴風会の敷地内にある枇杷の葉を利用者と一緒に収穫し、「いい風呂の日」に因んで「美人の湯、枇杷の葉風呂」を行いました。「初めて入るけど、ぽかぽかして温かいね」「枇杷の実を食べたくなくなるね」など笑顔と弾んだ声が聞こえました。



12月

6・7日 餅つき会。昨年はコロナ禍で出来なかつた餅つき会を今年は盛大に各フロアで行いました。利用者全員が広いリビングに集まり、職員が「どなたかお餅をつきませんか？」と伺うと「はい！つきたい！」と多くの利用者が法被を着て餅つきをされました。「よいしょー！よいしょー！」と大きな掛け声と共にお餅をつき、おやつはお汁粉に舌鼓を打ち、楽しい時間を過ごしました。(佐々木)

グループホームひまわり

11月

9・11日 毎年恒例のみそ作りを行いました。「母が作っていたわ」「懐かしいわ」と笑顔で話されながら作られていました。半年後の完成が楽しみです！

19日 6月に植えた落花生の収穫を行いました。採りたての落花生を塩ゆでしていただきました。ゆでたての柔らかい落花生は絶品でした。

12月

初旬 天気の良い日に花壇にチュウリップの球根と、畑には玉ねぎの苗を植えました。春に多彩なチュウリップが咲くのがとても待ち遠しいです。

20~23日 黄色の可愛らしいゆずを浴槽に浮かべて、ゆず湯で体を温めました。ゆずを手に取り「いい香り。冬至なのね。」とお話していただきました。



24日 クリスマス会。ケーキをデコレーションして、クッキーも焼き、フロア中が良い香りに包まれました。クリスマスソングを合唱して大変盛り上がりしました。(谷口)

【地域サービス事業】 地域包括支援センターケア24高井戸

10月

12・26・28日 アートカード(ゆうゆう館協働事業)

25日 高井戸地区民生委員勉強会

29日 高井戸地域グループホーム連絡会 (Zoom開催)

11月

1日 富士見丘小学校認サポ

7日 地域マンション認サポ

9日 家族教室(エンディングノート)

24日 「上高井戸端」フレイル講座

25日 高井戸エリア会議

29日 介護保険について(協働)

12月

1日 上高井戸町会認サポ

3・10・16日 地域ケア会議

14日 もしバナカード(協働事業)

21日 たすけあい全体会

23日 認知症ステップアップ講座 (尾関)

よくふう保育園

9~10月 保育園前で干し柿づくり

11月19日 秋のお芋ほり

12月17日 クリスマス会



おいもがたくさんほれました!!

【病院事業】

浴風会病院

★区民健診実施中

浴風会病院では現在、区民健診を実施しております。

杉並区、世田谷区、中野区、練馬区の方が対象となります。

また、「胃がんリスク」「骨密度」「動脈硬化」「肺がん」の追加健診もごございます。2月15日に終了となります、終了間際には予約できない場合もありますので、早期の予約をお待ちしております。

◎予約電話

03-3332-6511 (代表)

「区民健診の予約」とお伝えください。月曜～金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時となります。

★新型コロナワクチン接種

新型コロナウイルスの追加(3回目)

接種は引き続き、杉並区予約サイトを利用しての予約で実施してまいります。2回目の接種から7か月後の月の月末までに住民票のある区市町村から接種券が送付されますので、予約をお願いいたします。

※2回目の接種後に転居された方は接種券が送付されない可能性が高いようです。7か月後の月の月末までに届かない場合には、住民票のある区市町村にお問い合わせください。(多胡)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

10月

1日 この日は、くぬぎの開設記念日にあたりフルーツバイキングを催しました。季節のフルーツもあり、「美味しい」とおかわりをされた利用者も多くいらつしやいました。



豪華なフルーツの盛り合わせで大盛況!

11月

19日 この日は、おやつに焼き芋を提供しました。「甘くて美味しい」ととても好評でした。

12月

13～15日 ゆず湯。機械浴、個浴、リフト浴と全ての浴槽でゆず湯を楽しんでいただきました。風邪などひかず健康に冬を越していただきたいと思えます。

★ご利用のご相談など、お問合せは随時受け付けております。相談員までお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701 【代表】

◎03-5336-7734 【入所】

◎03-5336-7704 【デイ】

(森屋)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

10月

5～6日 第4回 新任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 313名修了
7～8日 第4回 現任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 87名修了

11日 運営会議 (Zoom)

18日 認知症介護オンラインセミナー 開始12月30日まで

26～27日 第5回 新任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 325名修了

28～29日 第5回 現任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 139名修了

29日 「認知症三昧!山口塾2021 第6回:ポジティブ心理学」(Zoom)

11月

8日 運営会議 (Zoom)

15日 第21回認知症介護研究・研修センター全国運営協議会 (Zoom)

16～17日 第6回 新任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 328名修了

18～19日 第6回 現任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 158名修了

12月

2～3日 第7回 新任者認知症地域支援推進員研修 (Zoom) 128名修了

5日 「認知症三昧!山口塾2021 第7回:①幸せの4つの因子/誰もが幸せに生きるためには!? ②若年性認知症の人の生きがい支援」(Zoom) ぐんま認知症アカデミー合同企画

13日 運営会議 (Zoom)

15日 センター内研修①コンプライアンス遵守②ハラスメントの防止

16日 老健事業委員会 (Zoom)

認知症対応型AI・IoTサービスの社会実装ビジネス研究会

21日 老健事業委員会 (Zoom)

23日 老健事業委員会 (Zoom)

24日 センター内研修①人口減少社会とは②厚労省の歴史など 「認知症三昧!山口塾2021 第8回 パーソン・センタード・ケア」(Zoom) (富島)

ご芳志

令和3年10月から12月

多くの方々よりご芳情をいただきました。ありがとうございます。

〈金品・物品〉

【10月】宮沢郁子様、和田泰則様、(株)中村屋様(水菓子)

【11月】片岡之総様、小山宏子様、土屋雄一様、宮沢郁子様、立正俊成会 杉並教会様(精米60kg)

【12月】鈴木保様、(株)大林組様(カレンダー)、大成建設(株)様(カレンダー)

ほか、各施設にもいただいております。

訃報

認知症介護研究・研修東京センター名誉センター長の長谷川和夫氏には、去る11月13日、病氣療養中のところ、92歳にてご逝去になりました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

《次回発行予定令和4年4月春季号》〒168-8510※住所なしで届きます

機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufukai.or.jp

https://www.yokufukai.or.jp/